



# 涼を呼ぶ水琴窟の祭典 Suikinkutsu festival

## 日本庭園が奏でる音色を 瀬戸内から世界へ

7/16(土)～9/19(月)

鑑賞料 無料



美しい瀬戸内の景色を眺めながら  
水琴窟の音色に耳を傾ける癒しの空間

## 水琴窟の庭 Water Harp Garden

瀬戸内海を見下ろす庭園には、巨大石臼の水琴窟・プロポーズの丘・義士の水琴窟・足を温めながら水音が聴ける足湯水琴窟などが設置されています。

企画展では、伝統の造園技法「水琴窟」とさまざまなジャンルのアーティストによる演出で「涼を呼ぶ水琴窟の祭典」が繰り広げられます。

### 《水琴窟演出コラボアーティスト》

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| オカモトヨシコ (ガラス作家) | 山下伸一 (金属工芸作家)     |
| マエカワマサミ (デザイナー) | 桃井香子 (雲火焼作家)      |
| 村下泰清 (木作家)      | 長棟州彦 (水琴窟師・雲火焼作家) |
|                 | 長棟光亮 (作庭家)        |



## 水琴窟 Suikinkutsu

日本庭園の音文化

江戸時代初期の著名な茶人で作庭家である小堀遠州が18歳(1597年)の時、茶の師匠である武士・古田織部を茶会に招き、蹲踞(つくばい)から琴の音色に似た小さなきれいな音を聞かせ驚かせたという逸話があります。それが水琴窟の始まりと言われています。

その後、庭師たちが音質を追求して技を競い、風流な音色は文化人に愛されてきました。

当時は「洞水門」(どうすいもん)と呼ばれていましたが、甕中で共鳴する音色が琴に似ていることから、昭和の初期頃より「水琴窟」と呼ばれるようになりました。

## さらなる音色を求めて「水楽器」

みずがっき

水琴窟師  
長棟造園 長棟州彦

私が最高の水琴窟に出会ったのは岡山県高梁市の吹屋ふるさと村の広兼邸でした。  
それ以来、先人の知恵が集結した水琴窟を現代庭園にも手軽に設置できるような地上型の水琴窟を製作し、リズムカルな音色を奏でるために水滴板も開発しました。

最近では、より美しい音色の水琴音を求めて絵付けの磁器壺を使った「水楽器」を研究しています。水音に対する探求心は尽きることがありません。



水滴を作る鳴り板は、石・陶器の性質を分析し、飽きのこない落ち着いたリズムを奏でよう工夫をしています。

## 特別企画

日本三大上水道の赤穂上水道 開通400年  
瀬戸内国際芸術祭2016 広域連携事業採択

## 記念事業

### ～瑤泉院ゆかりの灯籠に捧げる 小堀遠州写しの水琴窟の水音～

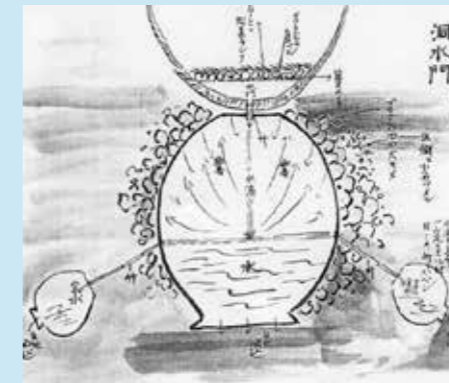
大きなヤマモモの下にある善導寺型の灯籠は、浅野内匠頭の正室 瑤泉院(ようぜんいん)が江戸で暮らしていた屋敷の灯籠と云われています。その灯籠と共に小堀遠州の残した水琴窟の図面を基にした水琴窟を設置します。

水琴窟のすがすがしい音色は、元禄の時代「義」のため、雪を蹴立てて討ち入った赤穂義士たちのすがすがしい響きにも通じます。

水琴窟を洞水門と呼んでいた時代の古の音色を、瑤泉院に捧げます。



使用する丸甕



小堀遠州の水琴窟図面



瑤泉院ゆかりの灯籠

## 《水琴窟工事日》

平成28年7月18日～(5日間程度)

水琴窟工房 長棟造園による小堀遠州考案の水琴窟の再現工事